

## 検討対象物質の概要

物質名	主な用途	生産・輸入量	管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
DDVP (ジメチルー2,2-ジクロロビニルホスフェイト) (CAS62-73-7)	農薬、家庭用殺虫剤、文化財用燻蒸剤	製造・輸入量1,162t(2007農薬年度)	未設定	○日本産業衛生学会:許容濃度:設定なし ○ACGIH:インハラブル粒子として 0.1mg/m <sup>3</sup> (0.01ppm)(2002年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1991年)
クロロホルム (CAS67-66-3)	フルオロカーボン原料、試薬、抽出溶剤(農薬、医薬品)(製品評価技術基盤機構2002)	製造・輸入量82,639 t(H22年度化審法報告)	3 ppm	○産衛学会:3ppm(14.7mg/m <sup>3</sup> )(2005年) ○ACGIH:10ppm(49mg/m <sup>3</sup> )(1978年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1999年)
四塩化炭素 (CAS56-23-5)	オゾン層保護のための規制によって、他の物質の原料として使用される場合、及び試験研究又は分析用途に限って製造・輸入が可能	生産・輸入量432t(2013年版16313の化学商品)	5 ppm	○産衛学会:5ppm(31mg/m <sup>3</sup> )(1991年) ○ACGIH:5ppm(31mg/m <sup>3</sup> )(1981年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1999年)
1,4-ジオキサン (CAS123-91-1)	抽出・反应用溶剤、塩素系溶剤の安定剤、洗浄用溶剤(製品評価技術基盤機構2002)	製造・輸入量3,864 t(H22年度化審法報告)	10 ppm	○産衛学会:10ppm(36mg/m <sup>3</sup> )(1984年) ○ACGIH:20ppm(72mg/m <sup>3</sup> )(1999年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1999年)

物質名	主な用途	生産・輸入量	管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
1,2-ジクロロエタン (CAS107-06-2)	塩ビモノマー原料、エチレンジアミン、合成樹脂原料(ポリアミン酸樹脂)、フィルム洗浄剤、有機溶剤、混合溶剤、殺虫剤、医薬品(ビタミン抽出)、くん蒸剤、イオン交換樹脂(化学工業日報社)	製造・輸入量297,473 t(H22年度化審法報告)	10 ppm	○産衛学会:10ppm (40mg/m <sup>3</sup> ) (1984年) ○ACGIH:10ppm (40mg/m <sup>3</sup> ) (2001年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1999年)
ジクロロメタン (CAS75-09-2)	洗浄剤(プリント基板、金属脱脂)、医薬・農薬溶剤、エアゾール噴射剤、塗料剥離剤、ポリカーボネートの反応溶剤、ウレタンフォーム発泡助剤、繊維・フィルム溶剤、接着剤、その他溶剤(製品評価技術基盤機構2002)	製造・輸入量53,225 t (H22年度化審法報告)	50 ppm	○産衛学会:50ppm (170mg/m <sup>3</sup> ) (1999年) ○ACGIH:50ppm (174mg/m <sup>3</sup> ) (2001年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、1999年)
スチレン (CAS100-42-5)	合成原料(ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、合成ゴム、不飽和ポリエステル樹脂、塗料樹脂、イオン交換樹脂、化粧品原料)(製品評価技術基盤機構2003)	製造・輸入量2,979,156 t(H22年度化審法報告)	20ppm	○産衛学会:20ppm (85mg/m <sup>3</sup> ) (1999年) ○ACGIH:20ppm (85mg/m <sup>3</sup> ) (1997年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、2002年)
1, 1, 2, 2-テトラクロロエタン (CAS79-34-5)	溶剤(2008年化学工業日報社)	製造・輸入量 事業者数が2社以下 (H23年度化審法報告)	1ppm	○産衛学会:1ppm (6.9mg/m <sup>3</sup> ) (1984年) ○ACGIH:1ppm (6.9mg/m <sup>3</sup> ) (1996年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、2013年)
テトラクロロエチレン (CAS127-18-4)	代替フロン合成原料、ドライクリーニング溶剤、脱脂洗浄、溶剤(製品評価技術基盤機構2003)	製造・輸入量4,892t(2013年版16313の化学商品)	50ppm	○産衛学会:設定なし ○ACGIH:25ppm (170mg/m <sup>3</sup> ) (2001年)	IARC:2A(ヒトに対しておそらく発がん性を示す、2013年)

物質名	主な用途	生産・輸入量	管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
トリクロロエチレン (CAS79-01-6)	代替フロン合成原料、脱脂洗浄剤、工業用溶剤、試薬(製品評価技術基盤機構2003)	生産量47,745 t(2010年化学工業日報社)	10ppm	○産衛学会:25ppm (135mg/m <sup>3</sup> ) (1997年) ○ACGIH:10ppm (54mg/m <sup>3</sup> ) (2007年)	IARC:1(ヒトに対して発がん性を示す)
メチルイソブチルケトン (CAS108-10-1)	硝酸セルロース及び合成樹脂、磁気テープ、ラッカー溶剤、石油製品の脱ロウ溶剤、脱脂油、製薬工業、電気メッキ工業、ピレトリン、ペニシリン抽出剤(化学工業日報社)	生産量60,124 t(2010年化学工業日報社)	20ppm	○産衛学会:50ppm (200mg/m <sup>3</sup> ) (1984年) ○ACGIH:20ppm (82mg/m <sup>3</sup> ) (2010年)	IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある、2013年)
ニッケル化合物	スルファミン酸ニッケル:電気メッキ、電鍍 硫酸ニッケル:ニッケルメッキ、ニッケル触媒一般、媒染剤、亜鉛および真ちゅうの黒色着色剤、ペンキおよびワニス、窯業用顔料、触媒一般、アルミ着色二次電池 炭酸ニッケル:触媒、窯業用顔料、うわ薬、ニッケル塩の原料、電気メッキ 硝酸ニッケル:各種触媒原料、金属表面処理剤、メッキ工業用原料、電池 塩化ニッケル:電気メッキ、試薬 (2013年版16313の化学商品、化学工業日報社)	排出・移動量:2,975t(2010年度)	0.1 mg/m <sup>3</sup> (ニッケル化合物、粉状の物、ニッケルとして)	○産衛学会 水溶性0.01mg/m <sup>3</sup> 不溶性0.1mg/m <sup>3</sup> (2011年) ○ACGIH 可溶性化合物0.1mg/m <sup>3</sup> 不溶性化合物0.2mg/m <sup>3</sup> 亜流化ニッケル0.1mg/m <sup>3</sup> (2001年、ニッケルとして)	IARC:1(ヒトに対して発がん性を示す、2012年)